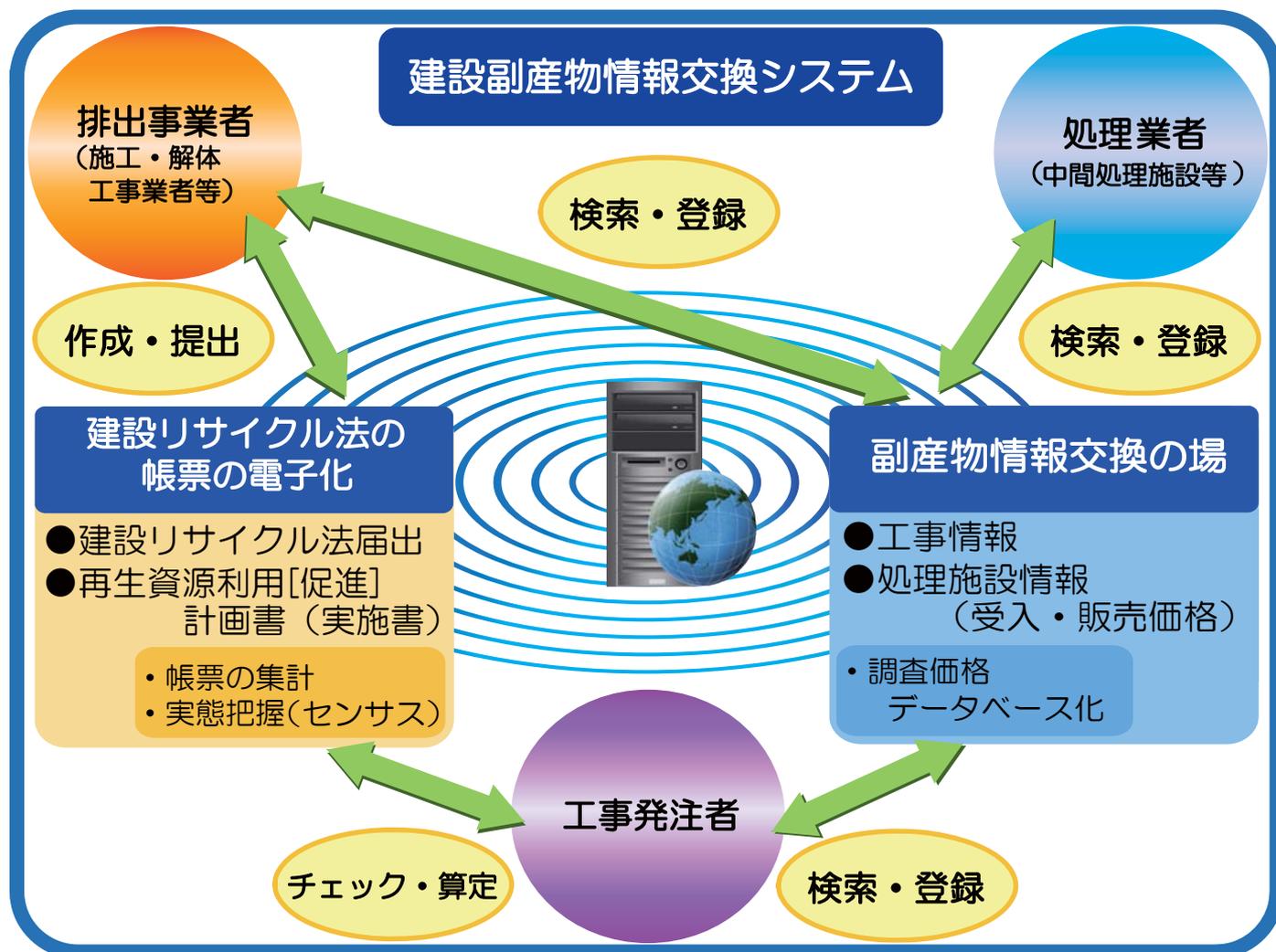


建設副産物情報交換システム (COBRIS)

建設リサイクルを推進します



■ 建設副産物情報交換システムの特長

- 建設副産物の処分先、再生資材の購入先を検索
- 建設リサイクル法に基づく帳票の作成、データのチェック、帳票の保存
- 資材利用量、建設副産物搬出量を品目別に総量算出
- 建設副産物実態調査 (センサス) に対応

システムの年度間利用料金

利用料金	ユーザ名	契約単位	利用料金 / 円 税込 (税抜)
オンライン方式	国・独立行政法人等	本局部・事務所単位	162,000 (150,000)
	都道府県・政令市		32,400 (30,000)
	市町村・特別区	市町村・特別区単位	8,640 (8,000)
	排出事業者	工事を監理できる 支店・事務所単位	8,640 (8,000)
代行方式	排出事業者	工事を監理できる 支店・事務所単位	16,200 (15,000)
	処理業者		検索費用 1,080 (1,000)
	処理業者	—	無料

※代行方式ではオンライン方式と異なり一部機能がご利用できません。

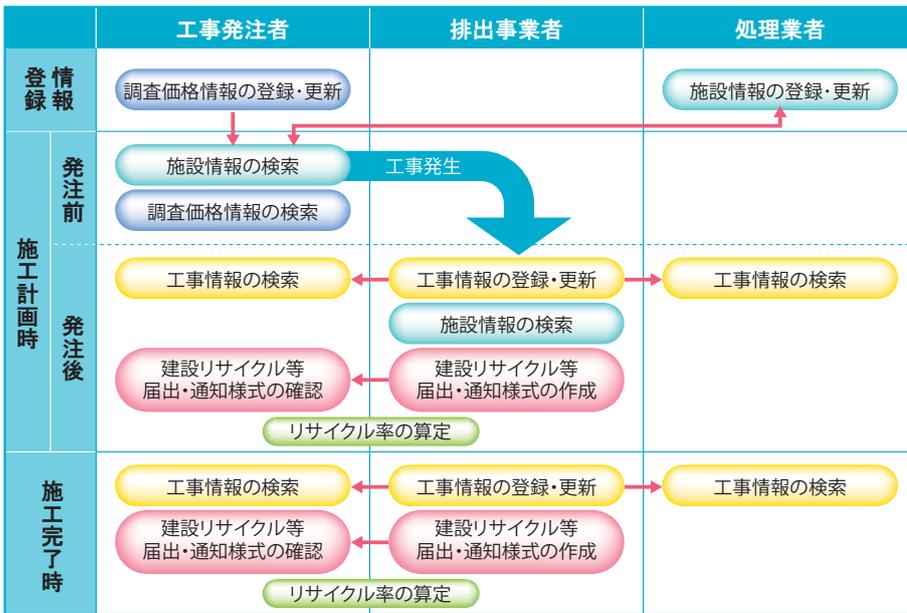
※都道府県・政令市・市町村・特別区は、最大で6ヶ月間の無料お試し実施中。

※消費税改正による平成26年4月からの料金表です。

問い合わせ先

一般財団法人 日本建設情報総合センター (JACIC)
建設副産物情報センター
http://www.recycle.jacic.or.jp
〒107-8416 東京都港区赤坂7丁目10番20号
アカサカセブンスアヴェニュービル2F
TEL: 03-3505-0410 FAX: 03-3505-0520
E-mail: recycle@jacic.or.jp
【お問い合わせ受付時間】
AM9:30~PM5:30 (土日、祝祭日を除く)

システム情報フロー



システムの適用範囲

システムの対象建設副産物、対象地域の適用範囲は次の通りです。

区分	適用範囲
対象建設副産物	コンクリート塊 アスファルト・コンクリート塊 建設発生木材 建設汚泥 建設混合廃棄物
対象地域	全国

システムの利用対象者と活用によるメリット

システムの利用対象者は、①工事発注者（公共事業発注機関省庁、独立行政法人等、都道府県、市区町村）、②排出事業者（建設工事の施工者等）、③処理業者（再資源化施設等）です。なお、システムが活用されることにより、各利用者には下記に示すメリットが期待されます。

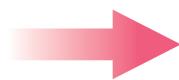
利用対象者	システム活用によるメリット
工事発注者	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 建設副産物の搬出先及び再生資材の購入先の検索が可能。 ▶ 工事現場から再資源化施設までの最短経路、距離及び運搬時間の検索が可能。 ▶ 適切な設計・積算の策定に寄与。 ▶ リサイクル率の算定（集計機能）。
排出事業者	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 建設副産物の搬出先及び再生資材の購入先の検索が可能。 ▶ 工事現場から再資源化施設までの最短経路、距離及び運搬時間の検索が可能。 ▶ 適切な施工計画の作成及び立案支援。 ▶ 建設リサイクル法の各種様式作成の省力化。 ▶ リサイクル率の算定（集計機能）。
処理業者	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 公共工事の建設副産物受入機会の拡大。 ▶ 自社施設の周辺工事の検索が可能。 ▶ PR欄の利用による、自社のPR活動。 ▶ リアルタイムな施設登録情報提供による業界の市場活性化。

建設リサイクル法等の提出書類の作成機能

資源有効利用促進法
(第10条・第18条)
工事毎の作成

建設リサイクル法
(第10条・第11条・第18条)
工事毎の作成

建設副産物実態調査
工事毎の作成



建設副産物情報交換システムによる
提出書類の作成の省力化

工事概要 画面

